

「私立短期大学図書館の運営実態と今後の図書館サービスのあり方等に関するアンケート調査」集計結果（概要）について

平成25年2月22日
日本私立短期大学協会
図書館情報委員会

調査の概要

1. 調査の目的

本協会図書館情報委員会では、今年度の研究テーマとして次の3つを掲げました。

- I. 短期大学図書館の運営実態に関する研究
- II. 利用活性化をめざす図書館サービスのあり方に関する研究
- III. 図書館を拠点とした教員との協働による学習支援に関する研究

このたび、この3つのテーマに関する研究を進めるにあたり、私立短期大学における図書館の運営状況を把握し、今後の図書館サービスの充実および教員と図書館職員の協力関係の構築等に資する趣旨によりWEBアンケート調査を実施することとなりました。

2. 調査項目

- I. 貴学図書館の運営について
- II. 利用活性化をめざす図書館サービスのあり方について
- III. 図書館を拠点とした教員との協働による学習支援について

3. 調査実施

- (1) 調査対象：会員短期大学（平成24年度337校）の図書館※1

※1 同一キャンパス内の併設大学等の共用図書館も含む。

- (2) 調査方法：依頼状を郵送、回答はWEBアンケートにより調査

- (3) 調査期間：平成24年10月10日（水）～11月8日（木）

4. 回答数

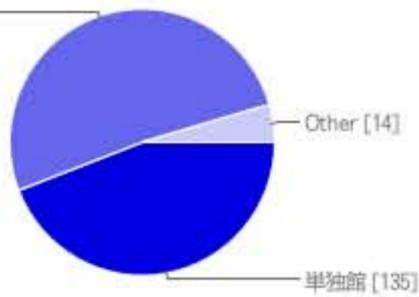
303校（306館）※2から回答が得られ、回答率は89.9%

※2 回答校数と回答館数が一致しないのは、複数図書館を持つ短期大学があるため。

概要 [詳細な回答を表示](#)

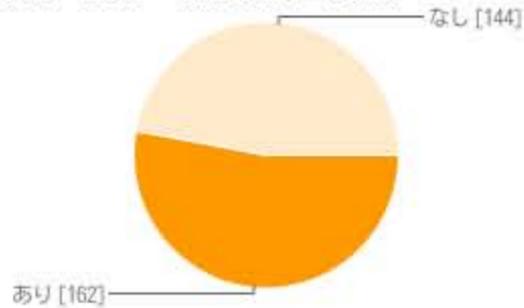
1) 貴学図書館の設置形態

・大学院共用館 [157]



単独館	135	44%
大学・大学院共用館	157	51%
Other	14	5%

2) 同一キャンパス内に4年制大学設置の有無

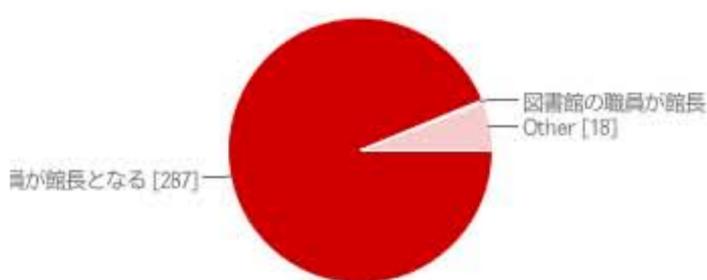


あり	162	53%
なし	144	47%

1. 貴学図書館の運営について

1. 図書館職員について

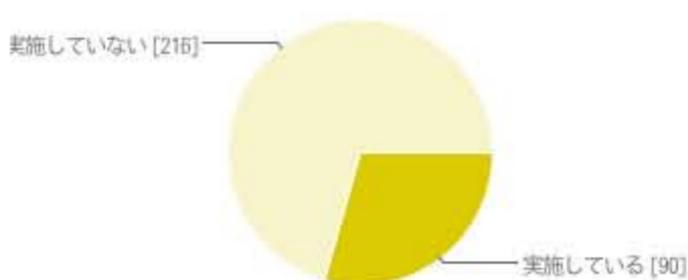
(2) 館長職について



教員が館長となる	287	94%
図書館の職員が館長となる	1	0%
Other	18	6%

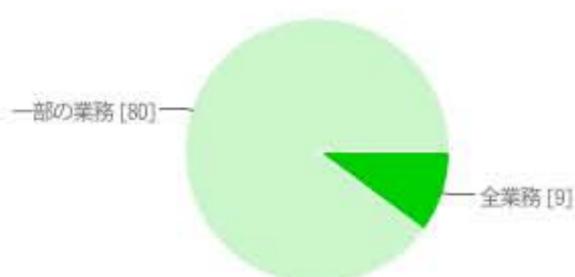
3. アウトソーシング(業務の外部委託)について

(1) アウトソーシングの実施の有無について



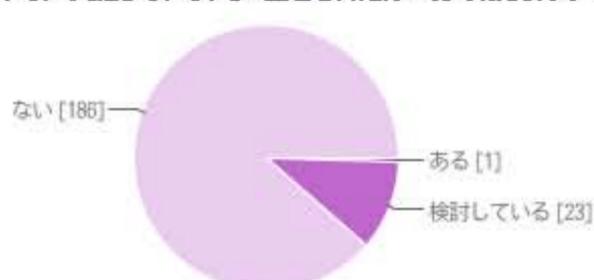
実施している	90	29%
実施していない	216	71%

(2)-2. アウトソーシングの内容について



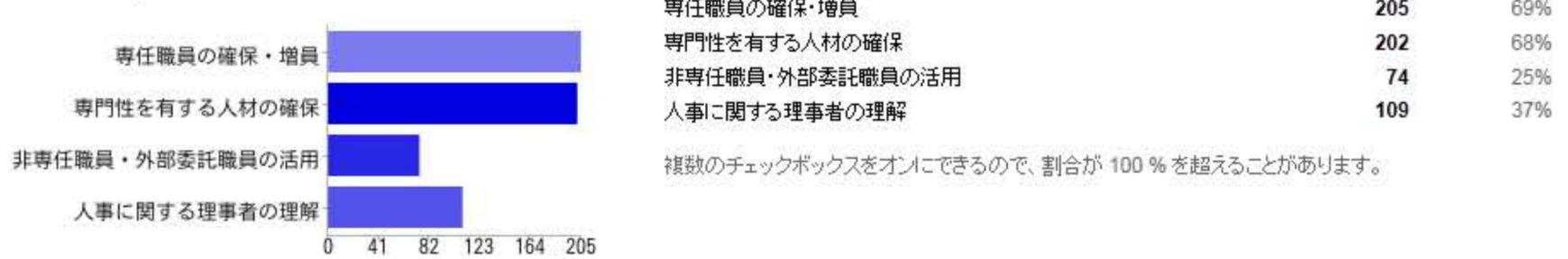
全業務	9	3%
一部の業務	80	26%

3. -(1)で、「実施していない」に回答された方にお尋ねします。今後、アウトソーシングを実施する予定はありますか。

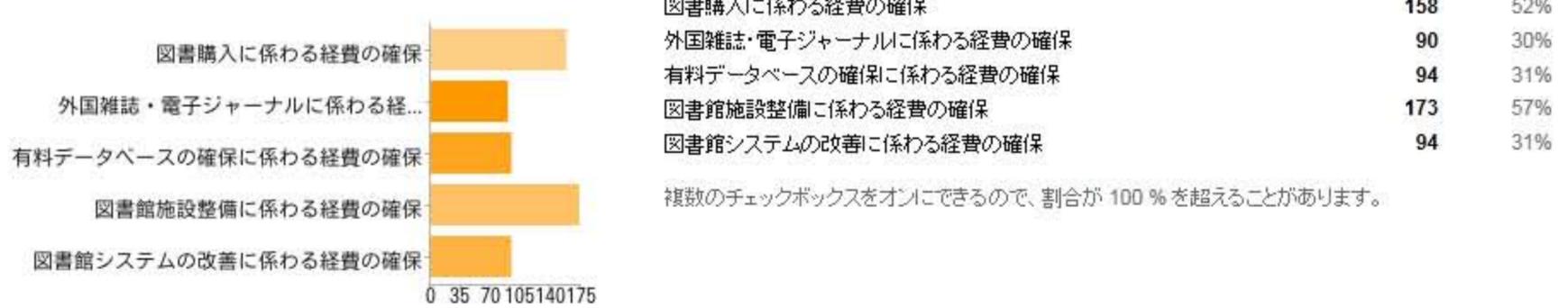


ある	1	0%
検討している	23	8%
ない	186	61%

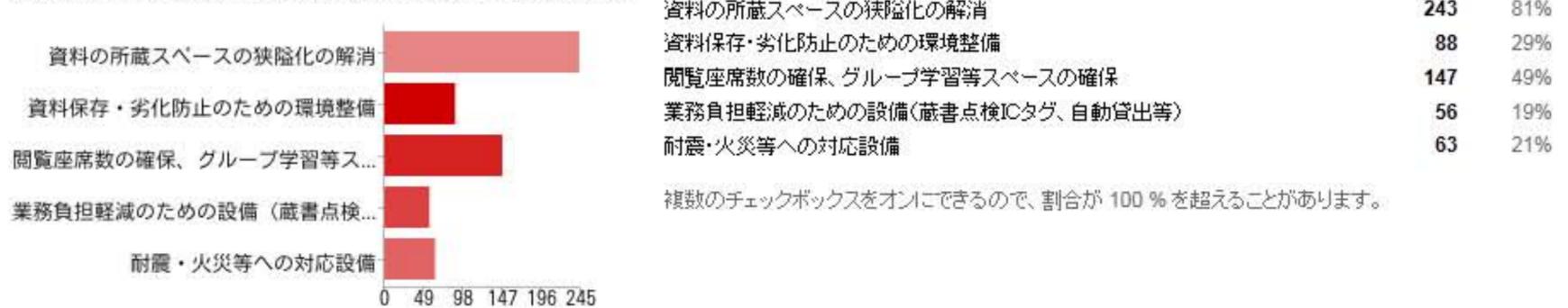
(1)「組織・人事」について、大きな課題と思われるものを、2つ選んでください。



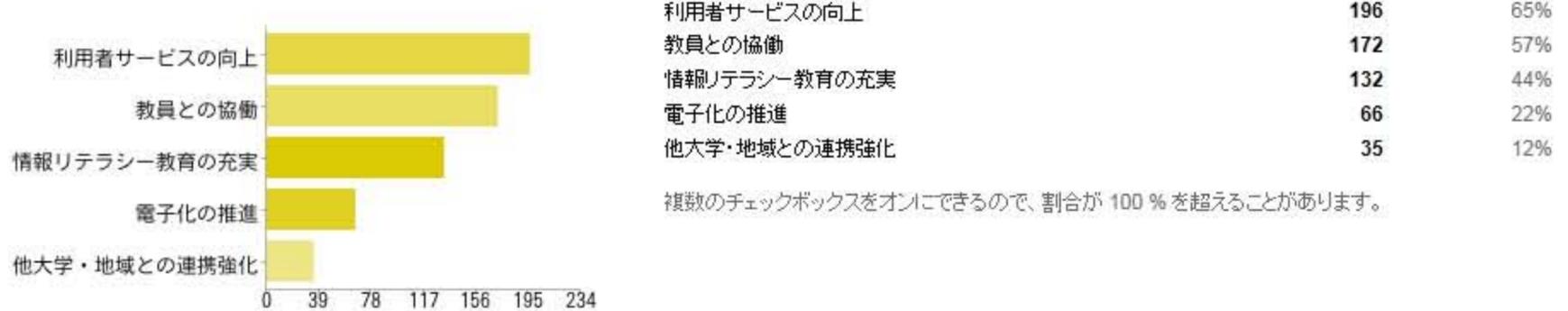
(2)「経費」について、大きな課題と思われるものを、2つ選んでください。



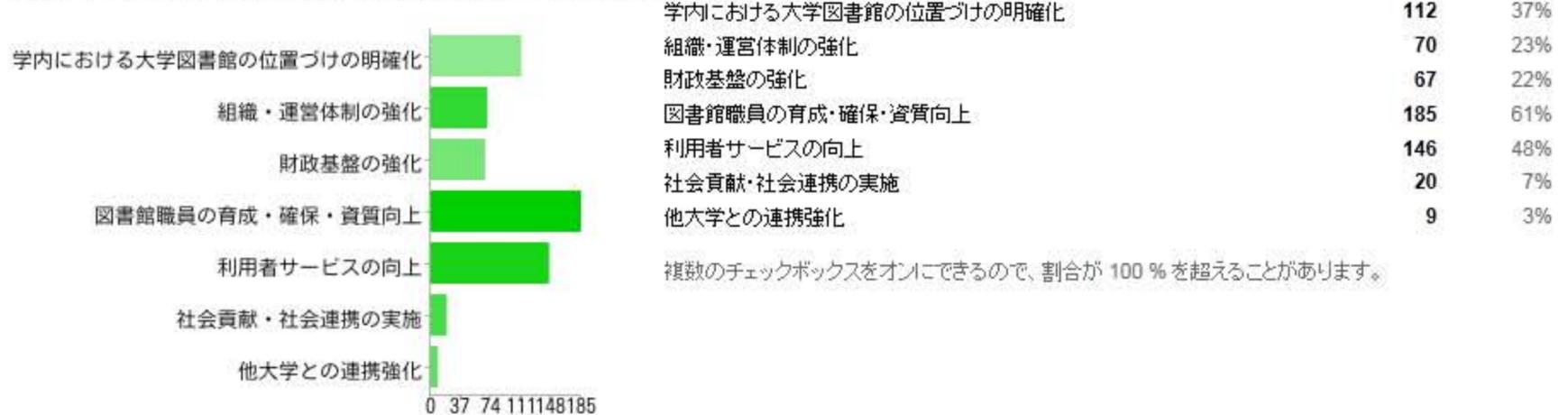
(3)「設備」について、大きな課題と思われるものを、2つ選んでください。



(4)「サービス面」について、大きな課題と思われるものを、2つ選んでください。

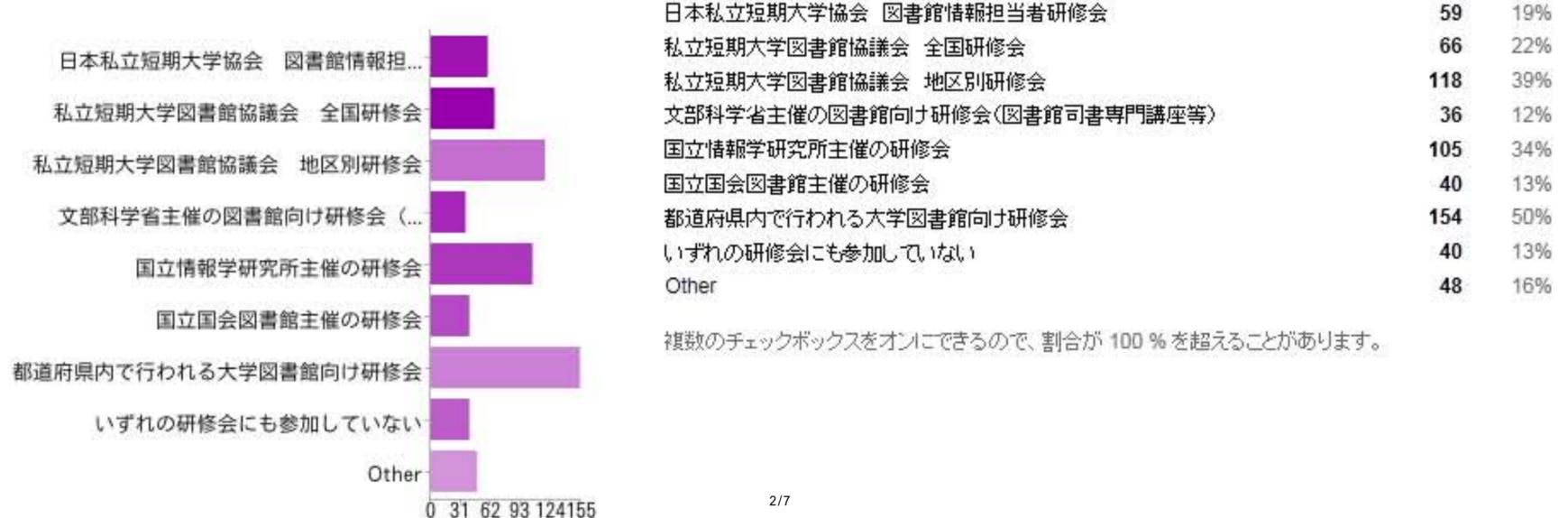


(5)「運営面」について、大きな課題と思われるものを、2つ選んでください。



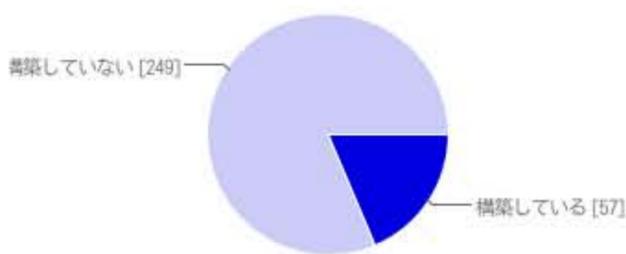
5. 図書館職員の資質向上への取組みについて

1) 下記の研修会の中で過去3年以内(平成21年～平成23年)に、参加したことがあるものにチェックを入れてください。



1. 機関リポジトリについて

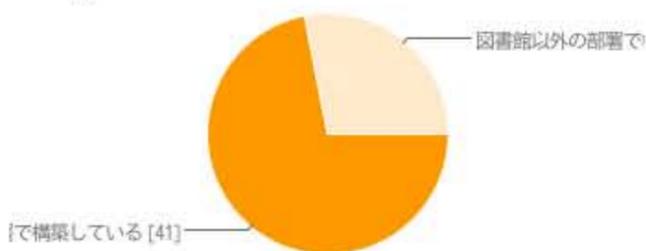
(1) 機関リポジトリを構築しているか否かについて



構築している	57	19%
構築していない	249	81%

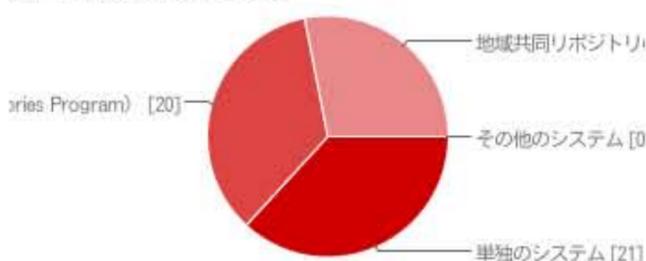
(1)で、「構築している」と回答された方にお尋ねします。

(2) (1)構築している部署について



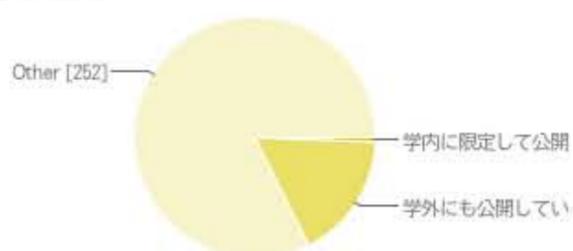
図書館内の部署で構築している	41	13%
図書館以外の部署で構築している	16	5%

(2)-1. 構築の形態について



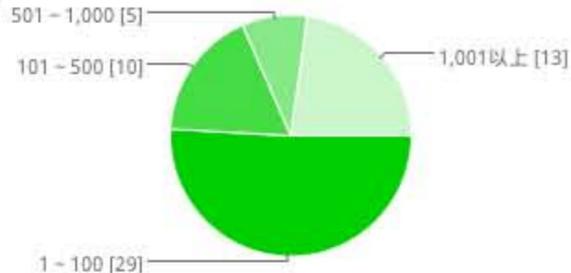
単独のシステム	21	7%
学術機関リポジトリ構築連携支援事業(NII Institutional Repositories Program)	20	7%
地域共同リポジトリのシステム	16	5%
その他のシステム	0	0%

(3) 利用者について



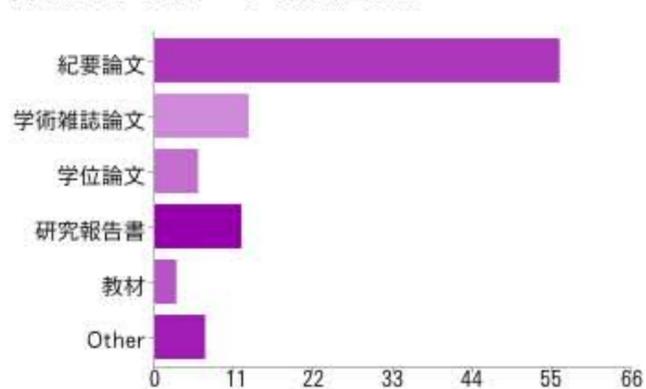
学内に限定して公開している	2	1%
学外にも公開している	52	17%
Other	252	82%

(5) 登録数について



1~100	29	9%
101~500	10	3%
501~1,000	5	2%
1,001以上	13	4%

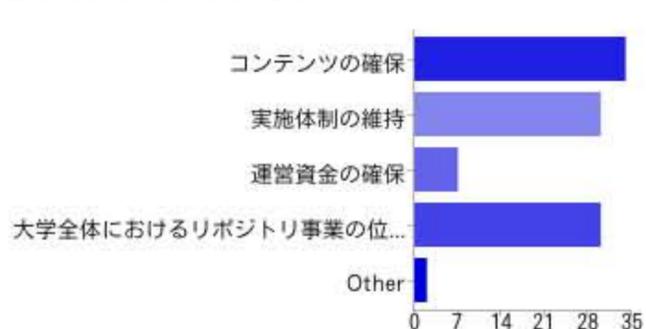
(6) コンテンツの内容について(複数回答可)



紀要論文	56	100%
学術雑誌論文	13	23%
学位論文	6	11%
研究報告書	12	21%
教材	3	5%
Other	7	13%

複数のチェックボックスをオンにできるので、割合が 100 % を超えることがあります。

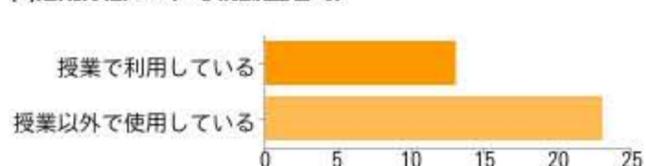
(7) 課題について(複数回答可)



コンテンツの確保	34	65%
実施体制の維持	30	58%
運営資金の確保	7	13%
大学全体におけるリポジトリ事業の位置付けの明確化	30	58%
Other	2	4%

複数のチェックボックスをオンにできるので、割合が 100 % を超えることがあります。

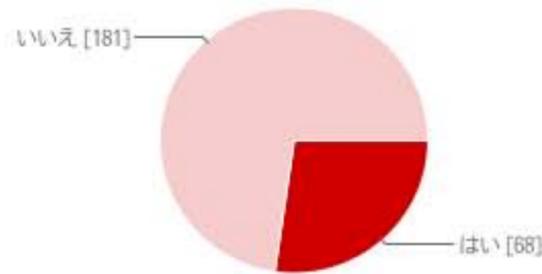
(9) 活用方法について(複数回答可)



授業で利用している	13	41%
授業以外で使用している	23	72%

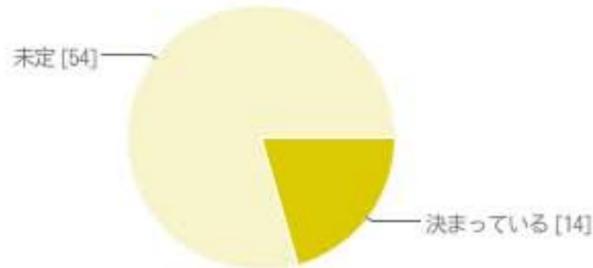
複数のチェックボックスをオンにできるので、割合が 100 % を超えることがあります。

1)今後、構築する予定はありますか。



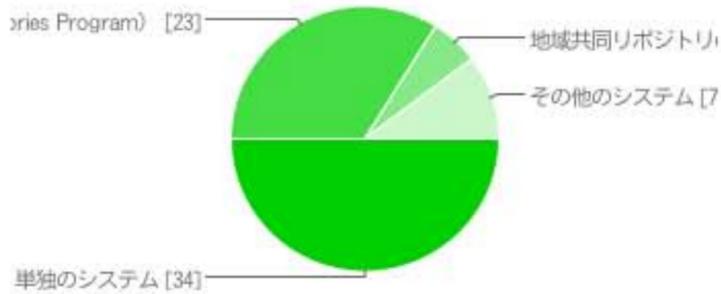
はい	68	22%
いいえ	181	59%

(1)-1. 構築時期について



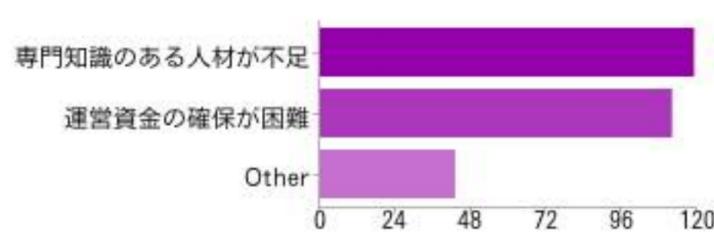
決まっている	14	5%
未定	54	18%

(2)-1. 構築の形態について



単独のシステム	34	11%
学術機関リポジトリ構築連携支援事業(NII Institutional Repositories Program)	23	8%
地域共同リポジトリのシステム	4	1%
その他のシステム	7	2%

(3)-1)で、「構築する予定はない」と回答された方にお尋ねします。その「理由」について、お答えください。(複数回答可能)



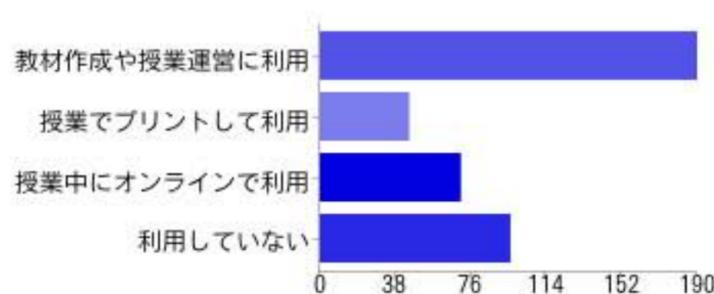
専門知識のある人材が不足	119	66%
運営資金の確保が困難	112	62%
Other	43	24%

複数のチェックボックスをオンにできるので、割合が 100 % を超えることがあります。

2. データベースについて

(1)活用方法について

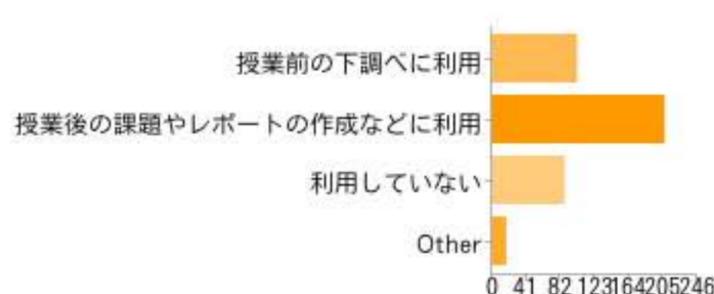
(1)教員が利用している(複数回答可)



教材作成や授業運営に利用	190	62%
授業でプリントして利用	45	15%
授業中にオンラインで利用	71	23%
利用していない	96	31%

複数のチェックボックスをオンにできるので、割合が 100 % を超えることがあります。

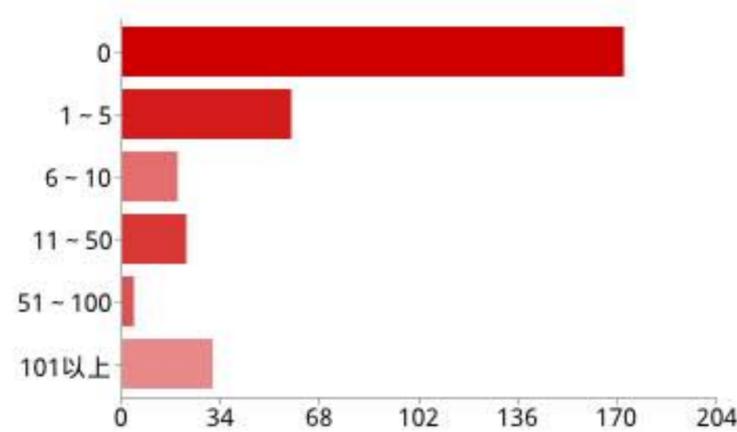
(3)学生が利用している(複数回答可)



授業前の下調べに利用	102	33%
授業後の課題やレポートの作成などに利用	207	68%
利用していない	87	28%
Other	17	6%

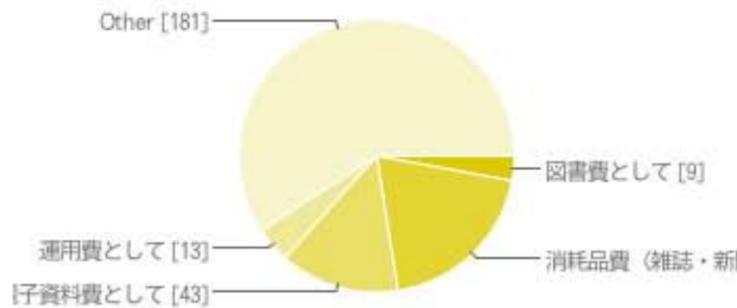
複数のチェックボックスをオンにできるので、割合が 100 % を超えることがあります。

(1)契約数について



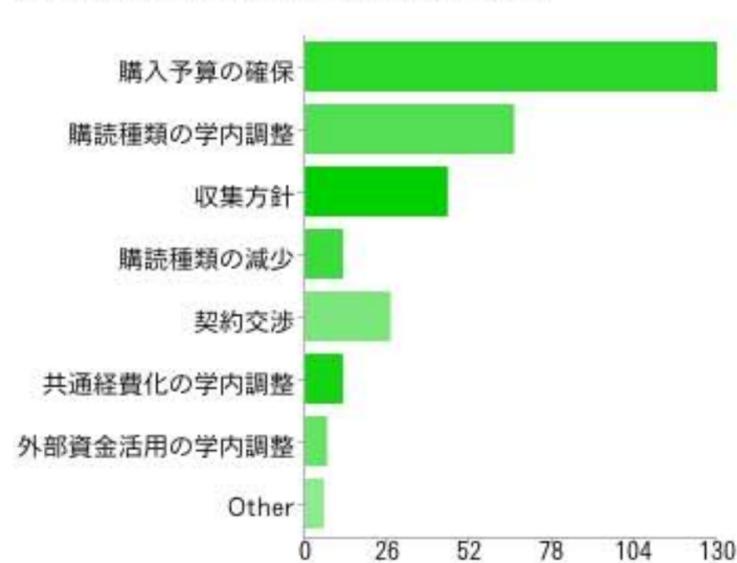
0	172	56%
1~5	58	19%
6~10	19	6%
11~50	22	7%
51~100	4	1%
101以上	31	10%

(2)電子ジャーナルの費用の仕訳について



図書費として	9	3%
消耗品費(雑誌・新聞等)として	60	20%
電子資料費として	43	14%
運用費として	13	4%
Other	181	59%

(3)利用にあたっての課題について(複数回答可)

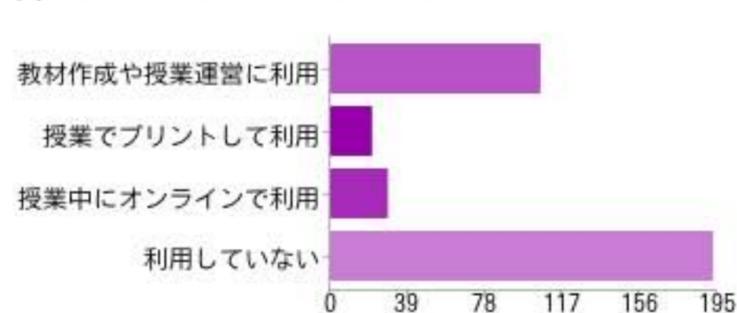


購入予算の確保	130	83%
購読種類の学内調整	66	42%
収集方針	45	29%
購読種類の減少	12	8%
契約交渉	27	17%
共通経費化の学内調整	12	8%
外部資金活用の学内調整	7	4%
Other	6	4%

複数のチェックボックスをオンにできるため、割合が 100 % を超えることがあります。

(4)電子ジャーナルの利用について

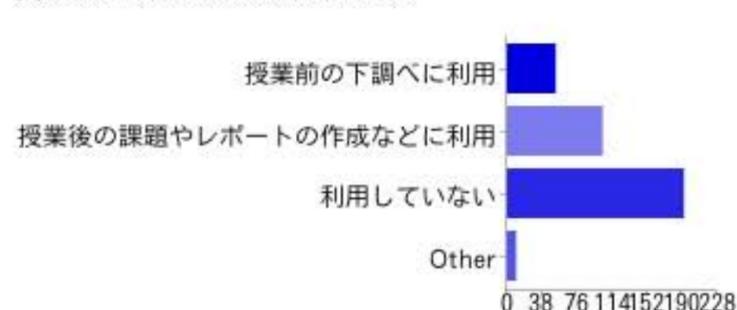
(1)教員が授業で利用している(複数回答可)



教材作成や授業運営に利用	106	35%
授業でプリントして利用	21	7%
授業中にオンラインで利用	29	9%
利用していない	193	63%

複数のチェックボックスをオンにできるため、割合が 100 % を超えることがあります。

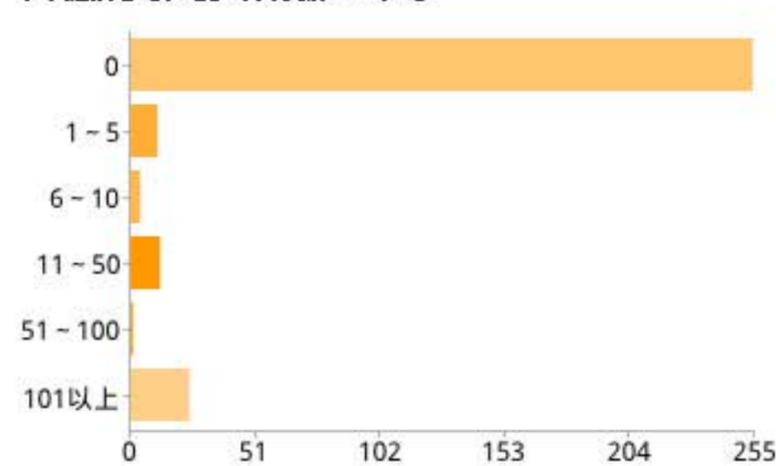
(3)学生が利用している(複数回答可)



授業前の下調べに利用	53	17%
授業後の課題やレポートの作成などに利用	104	34%
利用していない	192	63%
Other	10	3%

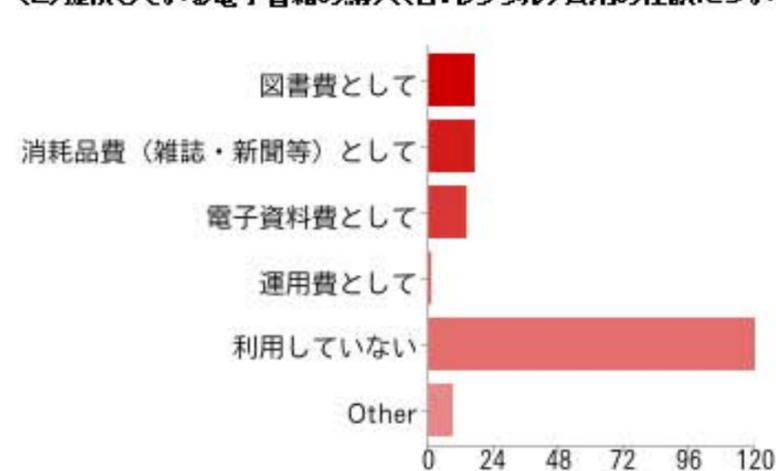
複数のチェックボックスをオンにできるため、割合が 100 % を超えることがあります。

(1)提供しているタイトル数について



提供しているタイトル数	件数	割合
0	254	83%
1~5	11	4%
6~10	4	1%
11~50	12	4%
51~100	1	0%
101以上	24	8%

(2)提供している電子書籍の購入(含:レンタル)費用の仕訳について(複数回答可)

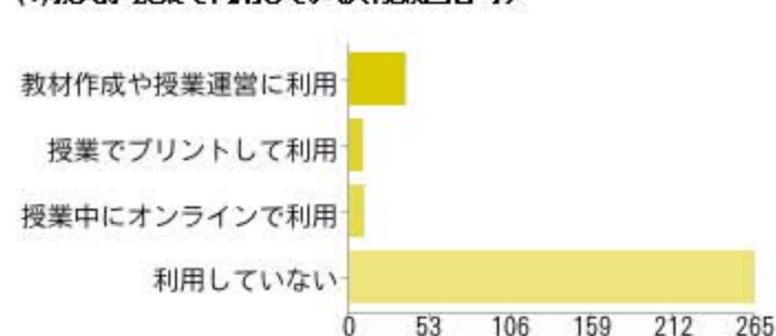


仕訳	件数	割合
図書費として	17	10%
消耗品費(雑誌・新聞等)として	17	10%
電子資料費として	14	8%
運用費として	1	1%
利用していない	120	68%
Other	9	5%

複数のチェックボックスをオンにできるので、割合が 100 % を超えることがあります。

(3)電子書籍の利用について

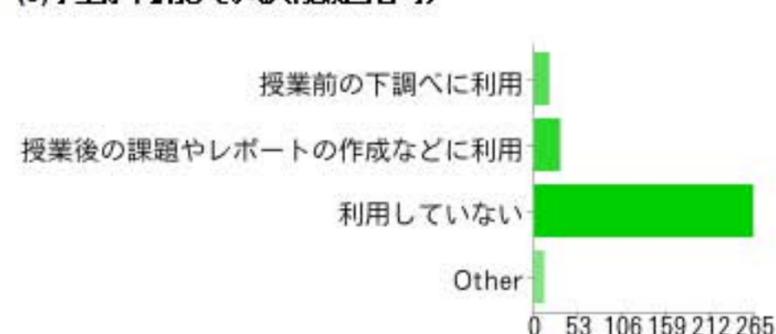
(1)教員が授業で利用している(複数回答可)



利用方法	件数	割合
教材作成や授業運営に利用	37	12%
授業でプリントして利用	9	3%
授業中にオンラインで利用	10	3%
利用していない	265	87%

複数のチェックボックスをオンにできるので、割合が 100 % を超えることがあります。

(2)学生が利用している(複数回答可)



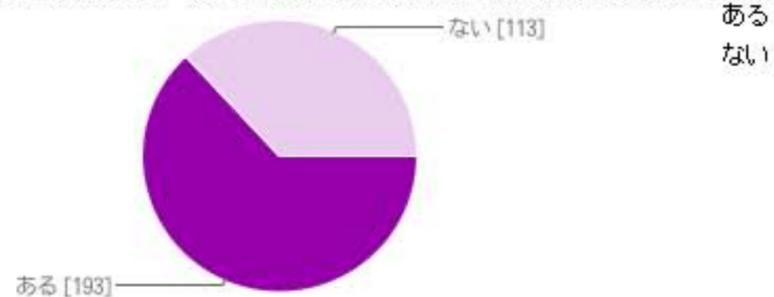
利用方法	件数	割合
授業前の下調べに利用	18	6%
授業後の課題やレポートの作成などに利用	31	10%
利用していない	263	86%
Other	12	4%

複数のチェックボックスをオンにできるので、割合が 100 % を超えることがあります。

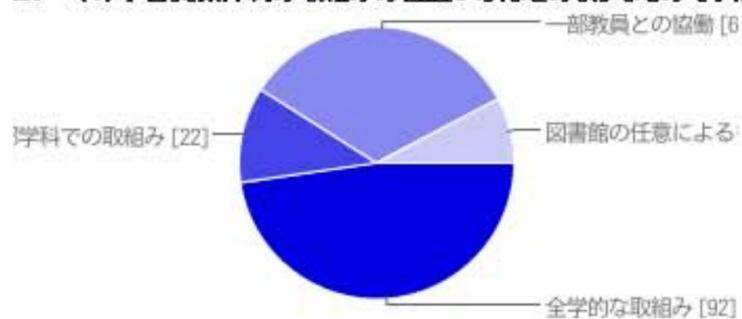
III. 図書館を拠点とした教員との協働による学習支援について

本設問の目的: アクティブラーニング、問題解決型学習など、学生が主体となる学習スタイルが注目され、ラーニングコモンズが広がりを見せています。学生主体の学習に図書館がどのように関わるのか、教員との協力体制も課題となっています。この調査では情報リテラシー教育、ラーニングコモンズなどにおける教員と図書館の協働関係の現状を把握することを目的としています。

1. 直学図書館の学生への学習支援における教員との協働関係の有無について

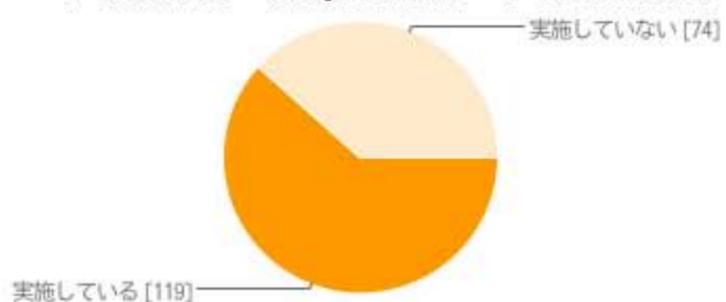


2. -(1) 学習支援体制の取組みの位置づけはどのようなものですか。



取組み	件数	割合
全学的な取組み	92	30%
一部学部学科での取組み	22	7%
一部教員との協働	64	21%
図書館の任意によるもの	15	5%

2. -(2) 「情報リテラシー教育事業」の協働についてお尋ねします。



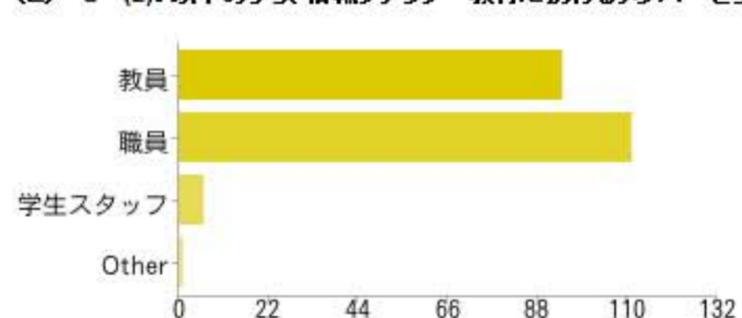
実施状況	件数	割合
実施している	119	39%
実施していない	74	24%

(2)-a-(1). 実施している場所は以下のうちどれですか。(複数回答可)



複数のチェックボックスをオンにできるので、割合が 100 % を超えることがあります。

(2)-a-(2). 以下のうち、情報リテラシー教育に携わるメンバーを全てお答えください。(複数回答可)



複数のチェックボックスをオンにできるので、割合が 100 % を超えることがあります。